



EXDXF-Pro

Plug-in for Adobe Illustrator



Manual

◆EXDXF-Pro 使用条件:

※EXDXF-Proをご使用頂くにあたりまして、下記の項目をご同意頂く事が必須条件となっておりますので、ご使用頂く前には必ずこの条件をお読み頂きますようお願い申し上げます。

またご使用頂くに際しましては、下記の条件に同意頂いたものと致しますのでご注意願います。

1.ライセンス（サブスクリプション型ライセンス）

1年単位でご使用料をお支払いいただくことで製品をご利用いただけます。1年の契約期間を過ぎると製品は使用できなくなりますので、契約更新の後、引き続きご利用が可能となります。

尚、ライセンスポリシーは、1ライセンス1ユーザー（1Illustrator ライセンス）となります。Illustrator とプラグインのライセンスのユーザーは同一とし、そのユーザーのみ複数のコンピュータにプラグインをインストールし、2台までライセンス認証することが出来ますが、一度に1台のコンピュータでのみ使用可能です。

従いましてそれ以外の使用は、法律に反し、場合によっては損害賠償をして頂く可能性がございますので、予めご注意願います。

2.ご利用上の制約

DXFファイルの変換サービスなど、営利目的としたDXFファイルの受け渡し行為は禁止させていただきます。

またそれ以外の使用でも変換サービスに準じると判断される場合は、直ちにライセンス権を無効にできるものと致します。

これらは株式会社ベビーユニバースの判断に基づいて決定できるものと致します。

3.ご利用上の保証

EXDXF-ProによるDXFファイルの受け渡しにおいて発生した、いかなる損害も補償の対象外とさせていただきます。これらは予めデモ版での試用において、利用上問題無いとのご同意を得られたものとさせていただきます。

◆動作環境:

下記バージョンのAdobe Illustratorが正常に動作する環境（アドビ社推奨環境）でお使い下さい。

原則、Mac/Windows とともにアドビ社提供中の最新2バージョンとします。

また、他社のプラグインを同時に動作させると、正常に機能しない可能性がありますので、予めご了承願います。

◆インストール

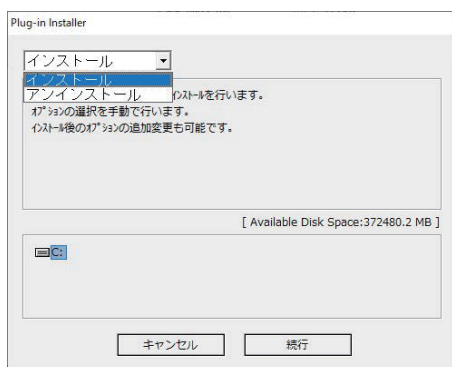
Macintosh 版



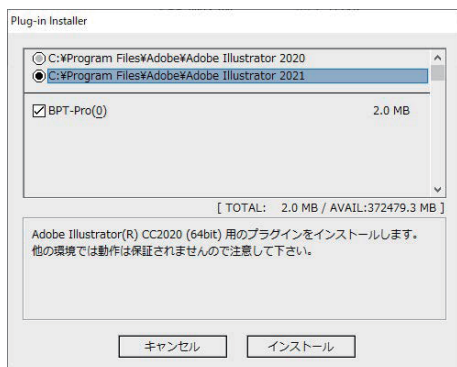
Windows 版



ダウンロードしたEXDXF-Proのフォルダを開き(Windowsの場合は展開後)、「Installer (Mac)」または「Setup.exe(Windows)」をダブルクリックしてインストーラを起動して下さい。

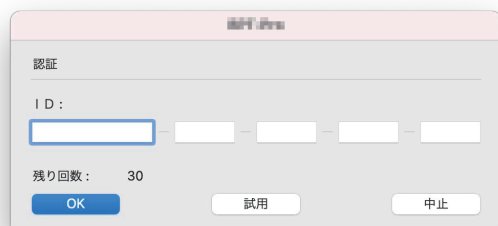


最初のインストーラの画面が立ち上がったなら、「開始」ボタンを押してください。すると左図のような画面となります。インストーラが自動的に適切なディスクを探します。左上の「インストール」が選択されていることを確認し、「続行」をクリックしてください。

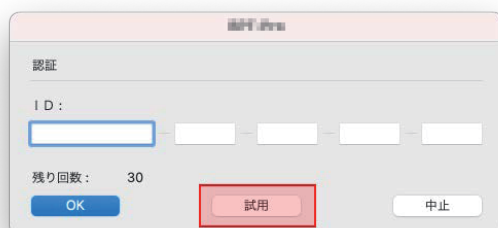


次に、左図のような画面になります。インストーラが、お使いのコンピュータのディスクにインストールされているすべてのイラストレータを自動的に探しますので、インストールしたいバージョンを選択してください。「インストール」をクリックすると、インストールが始まります。

◆ライセンスの認証方法



プラグインのツール（機能）を最初に使用する際、左図のような認証ダイアログが出現します。メールで通知されたIDを入力したら、“OK”ボタンを押して下さい。
以上でライセンス認証は終了です。



◇デモ版での試用について
デモ版で試用する場合は、“試用”ボタンを押して下さい。通常と同機能で残り回数試用できます。

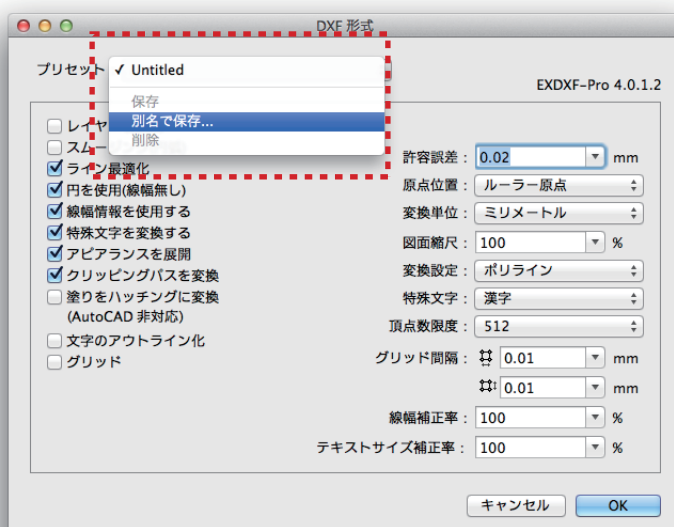
◆DXF 書き出し



EXDXF-ProのDXF 書き出しの方法は二通りあります。1つはイラストレータ/ファイルメニュー/別名で保存(または複製を保存)を選択します。2つめの方法は、ファイルメニュー/データ書き出し...を選択します。

いずれの方法でも図のようなダイアログが出ますので、赤点線で囲んだフォーマットに"Drawing Interchange (DXF)"を選択して下さい。後はファイル名を記入し、保存場所を選択して保存ボタン(または書き出しボタン)を押して下さい。

※この時、必ず拡張子(.dxf)がファイル名についているか確認して下さい。



●プリセット

出力時に、プリセットを保存することができます。

設定値を、色々な名前で保存しておく事により、すぐにその設定値を呼び出して使用する事ができる便利な機能です。

次頁に続く→

◆DXF 書き出し



すると、図のような書き出すDXFファイルの形式を設定するダイアログが出てきます。これらを設定し、OKボタンを押して下さい。

以上でDXF書き出し作業は終了です。

下記に各項目毎の設定方法を説明します。

●レイヤー名使用

書き出すDXF書類に、イラストレータのレイヤー名を保持します。

●スムージング(円弧)

美しいイラストレータのベジェ曲線を独自のスプライン補完技術で、スムーズなラインに変換。

●ライン最適化

イラストレータのベジェ曲線を、独自のライン最適化技術により、無駄な頂点を省きスムーズなラインに変換。

●円を使用(線幅無し)

イラストレータ上の円をDXFの円データとして書き出す。円の線幅情報は無し。

●線幅情報を使用する

書き出すポリラインに線幅情報を保持することができる。

●特殊文字を変換する

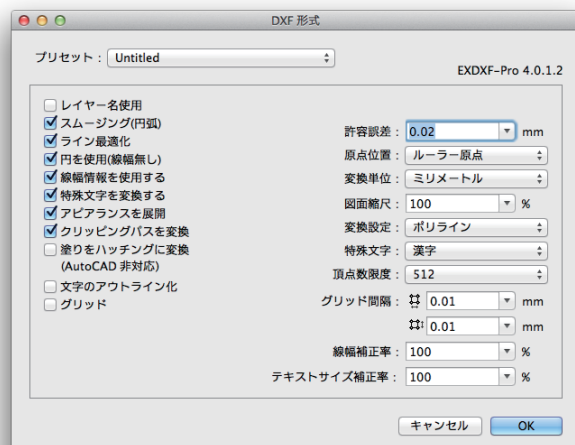
特殊文字とは、"%%C" = "φ", "%%D" = "°", "%%P" = "±" 等の文字で、これらを変換することができる。

●アピアランスを展開

イラストレータのアピアランスを使用している場合、それらを展開する。

次頁に続く→

◆DXF 書き出し



(前項より続き)

●クリッピングパスを変換

このチェックが入っている時、ファイル上にクリッピングマスクがある場合には、クリッピングマスクもパスとして出力する事ができる。

●塗りをハッチングに変換(AutoCAD非対応)

(※AutoCADで読込む場合には非対応)

●文字のアウトライン化

このチェックが入っている時、文字は全てアウトラインとして出力される

●グリッド

オブジェクトの頂点位置を丸めて、端数処理する事ができる。設定は下記のグリッド間隔を使用する。

(※許容誤差以下に設定する事を推奨します)

●許容誤差

設定数が多いほど、書き出す頂点数を減らす事ができる。

●原点位置

ルーラー原点 : Illustratorのルーラー原点です。

用紙の左下 : アートボード左下に成ります。

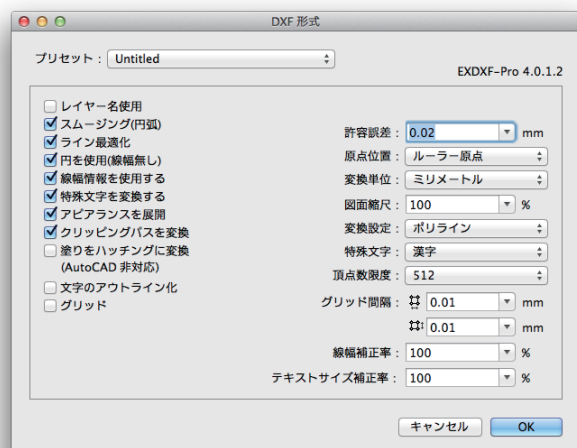
描画可能領域の左下 : アートボードの左下から印刷マージン分内側に移動した位置。

描画可能領域の中央 : アートボードの中央。

※ CS5 以降、読み込み時に用紙位置を取得出来ないので、アートボードの左下を基準に統一しました。

次頁に続く→

◆DXF 書き出し



※その他の変更点

●\$EXTMIN, \$EXTMAX を用紙のサイズから、オブジェクトの大きさに変更

●原点の基準位置を、用紙の左下から、アートボードの左下に変更

(前項より続き)

●変換単位

書き出すDXFファイルの単位を 設定します。ミリメートル／インチ。また許容誤差やグリッド設定などの単位も連動します。

●図面縮尺

書き出すDXFファイルの縮尺(%)を設定します。

●変換設定

◇ポリライン

汎用性の高い線種 (折れ線)

◇ポリラインと円弧

角のないスムーズな曲線が可能

◇ラインと円弧

ポリラインに対応していないCAD用。頂点ごとに線がバラバラとなる。

●特殊文字

前項の"特殊文字を使用"と連動、変換方法で、フォントや、Mac か、Win かの違い、または言語によっても異なります。

●頂点数限度

1つのポリライン中の頂点の数です。デフォルトは、512ポイント。多く設定する方が綺麗な線を描けるが不具合が起きる場合は調整する。

●グリッド間隔

グリッドにチェックが入っている場合に、この設定が有効になります。詳細はグリッドをご参照下さい。

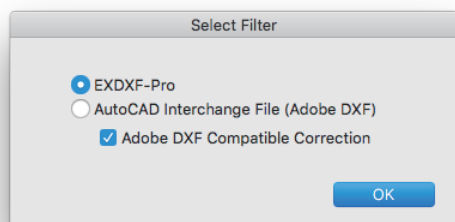
●線幅補正率

線幅の拡大率を設定できます。

●テキストサイズ補正率

テキストサイズの拡大率を設定できます。各CADのフォントデザインによって文字の大きさが変わる為、その補正ができます。

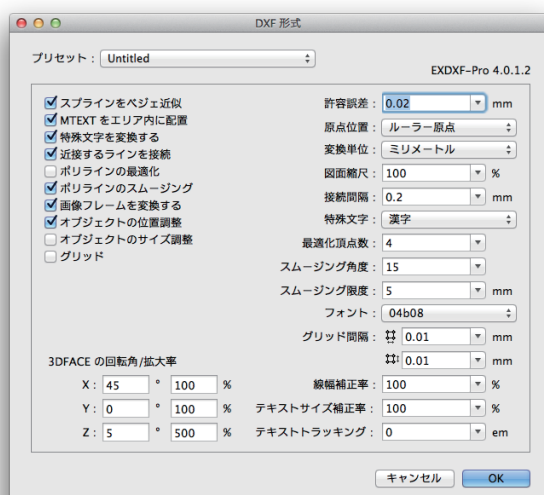
◆DXF読み込み



EXDXF-ProのDXF読み込みの方法は二通りあります。1つはイラストレータ/ファイルメニュー/開く を選択します。2つめの方法は、ファイルメニュー/配置 を選択します。

読み込むDXFファイルを選択したら、「開く」ボタン(または「配置」ボタン)をクリックしてください。

すると図のように「Select Filter(ファイル形式の選択)」ダイアログが出てきます。必ず「EXDXF-Pro」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



すると、図のような読み込むDXFファイルをイラストレータ形式にする為のダイアログが出てきます。これらを設定し、OKボタンを押して下さい。以上でDXF読み込み作業は終了です。下記に各項目毎の設定方法を説明します。

●プリセット

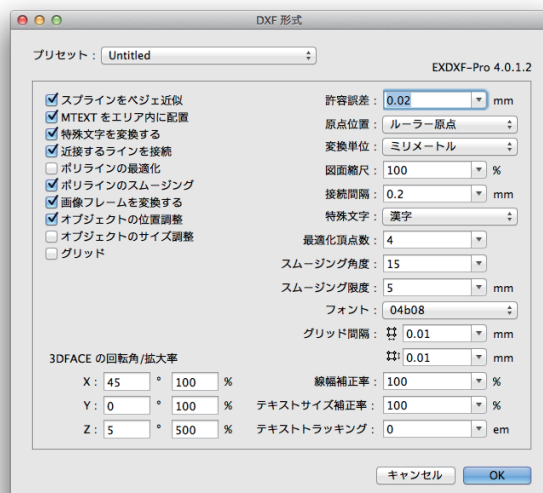
読み込み時に、プリセットを保存する事ができます。設定値を、色々な名前で保存しておく事により、すぐにその設定値を呼び出して使用する事ができる便利な機能です。

●スプラインをベジェ近似

オンにすると読み込むスプライン曲線のライン形状を優先し、オフにすると頂点の位置を優先し、変換します

次頁に続く→

◆DXF 読み込み



前ページより続く

●MTEXTをエリア内に配置

四角形のパス内に配置されたMTEXTを、エリア内に配置をオンにすると、改行は文章の通り配置されます。オフにするとポイントテキストとして、自動的に改行されます。

●特殊文字を変換する

(%) (φ) (±)等の特殊文字を、漢字に変換するか、しないかを選択します。

●近接するラインを接続

近接するラインを接続します。

●ポリラインの最適化

ポリライン中のムダな頂点を省きます。

●ポリラインのスムージング

ポリラインが細かい折れ線で来た時に、これにスプライン補完を行い、滑らかに繋ぐ処理を行います。その後、ベジェカーブに変換する事で、ムダな頂点を省きます。

●画像フレームを変換する

DXFの画像フレーム（画像非対応）のみパスに変換する。

●オブジェクトの位置調整

原点から離れたオブジェクトの位置を調整し、中心によせる。

●オブジェクトのサイズ調整

DXF中の\$EXTMIN, \$EXTMAXのパラメータに対応し、サイズ調整を行う。

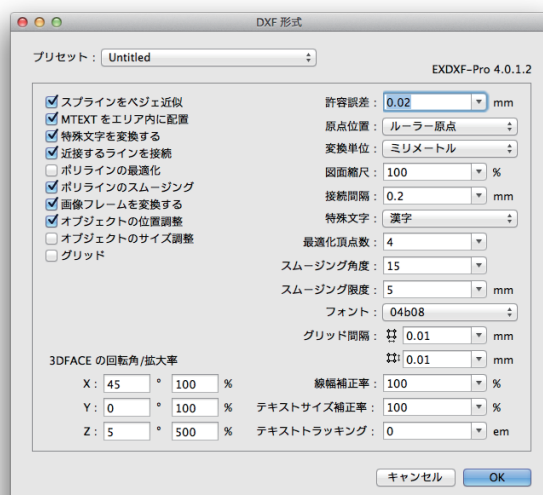
●グリッド

オブジェクトの頂点位置を丸めて、端数処理する事ができる。設定は下記のグリッド間隔を使用する。

(※許容誤差以下に設定する事を推奨します)

次頁に続く→

◆DXF 読み込み



前ページより続く

●許容誤差

設定数(mm)が多いほど、読み込む頂点数を減らす事ができる。

●原点位置

ルーラー原点: Illustratorのルーラー原点です。CS5以降はアートボードの左上固定です。

用紙の左下: アートボード左下に成ります。

描画可能領域の左下: アートボードの左下から印刷マージン分内側に移動した位置。

描画可能領域の中央: アートボードの中央。

※ CS5 以降、読み込み時に用紙位置を取得出来ないの、アートボードの左下を基準に統一しました。

●変換単位

読み込むDXFファイルの単位を確定します。
ミリメートル／インチ

●図面縮尺

読み込むDXFファイルの縮尺(%)を設定します。

●接続間隔

上記の「近接するラインを接続」がオンの場合の接続間隔を設定する。

●特殊文字

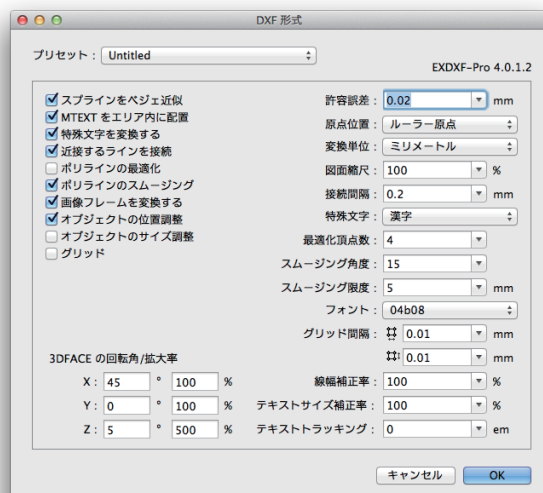
変換方法で、フォントや、Mac か、Win かの違いで、異なります。
また、言語によっても異なります。

●最適化頂点数

ポリライン中にこの指定以上の頂点がある場合、スムージング等を行い、ムダな頂点を省きます。(最適化)

次頁に続く→

◆DXF 読み込み



前ページより続く

●スムージング角度

最適化頂点数と同様に、ポリライン中の隣り合う線分がこの角度以下で折れ曲がる場合、最適化を行います。

スムージングを行う際に、全てを滑らかに繋いでしまうと、形状が意図したものと違ってしまふ危険性があるからです。

もし歯車等の頂点が丸く成ってしまう場合は、この角度を小さくして下さい。逆に、ポリラインの頂点の取り方が荒い場合は、この角度を大きくすると、なめらかに繋がります。

●フォント

読み込む際のフォントを選択できます。読み込むDXFファイル中に日本語フォントが含まれている場合には、必ず日本語を選択して下さい。

●グリッド間隔

グリッドにチェックが入っている場合に、この設定が有効になります。詳細はグリッドをご参照下さい。

●線幅補正率

DXFの読み込み時に線幅がCADと異なる場合がある、その場合に線幅の拡大率を入力し、補正を行う事ができる。

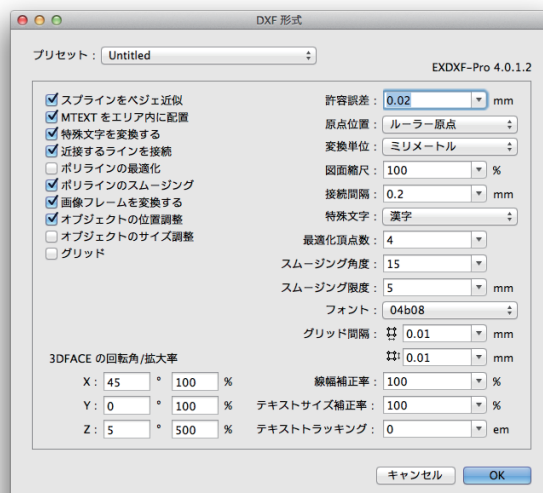
●テキストサイズ補正率

CAD側のフォントデザインによって文字の大きさが異なる場合がある、その場合に拡大率を入力し、補正を行う事ができる。

●テキストトラッキング補正率

フォントデザインによって文字幅が異なる場合がある。その場合にem値を入力し、補正を行う事ができる。

◆DXF 読み込み



前ページより続く

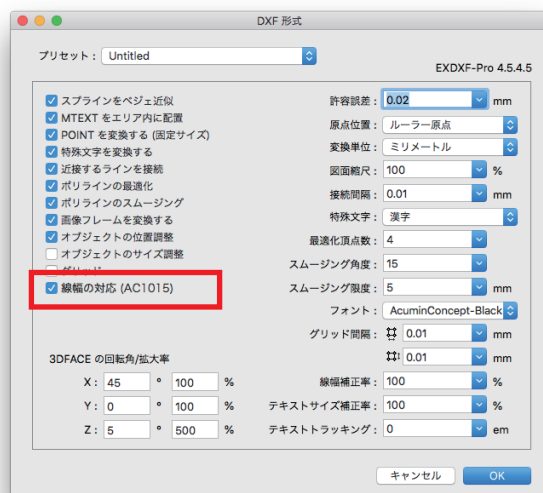
●3DFACE (メッシュ) の回転／拡大率
地図等で3次元のメッシュがある場合、回転する角度や拡大率を指定する事により読み込み可能となる。

※その他の変更点

●\$INSUNITS (単位の指定) の対応
DXF中に 単位の指定があった場合、それに対応して読み込む事が可能になった。

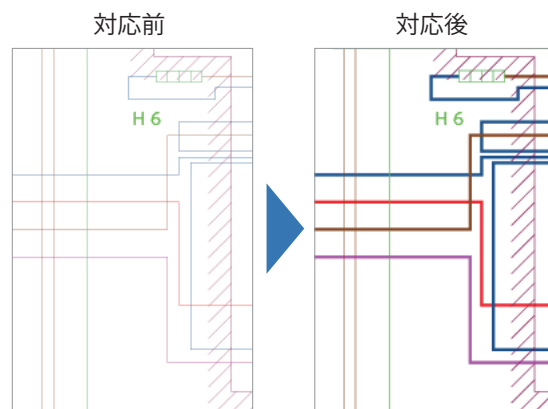
●SOLID エンティティのオブジェクト座標系 (OCS) に対応可能になった。

●原点の基準位置を、用紙の左下から、アートボードの左下に変更



※2018.11.08 リリース版追加機能

●線幅の対応
LINE, ARC, CIRCLE, ELLIPSE の線幅に対応。
(AutoCAD 2000 / AC1015 以降)





■ EXDXF-Pro に関するお問い合わせ先

※お問い合わせは必ず FAX or E-mail をお願い致します。

(株)ベビーユニバース EXDXF-Pro係

FAX: 0466-55-3001

E-mail: info@baby-universe.co.jp

■ 最新情報は下記ホームページへ

<http://www.baby-universe.co.jp>